

2022年11月

日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会  
第78回廃止措置分科会（R3SC） 議事録

1. 日時 2022年9月21日（水） 13:00-15:00
2. 場所：Web会議（Webex）
3. 出席者：岡本主査，松原福主査，田中幹事，青井，生駒，石原，工藤，黒川，小山，田村，  
湊（仲田代理），西村，深田，見上，目黒，山本，平井  
（欠席：中村，佐藤）（敬称略）
4. 配布資料
  - R3SC-78-1 人事案件（今回なし）
  - R3SC-78-2 日本原子力学会 標準委員会 基盤応用・廃炉技術専門部会  
第77回廃止措置分科会（R3SC）議事録（案）
  - R3SC-78-3-1 「原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX」公衆審査結果及び対応案について
  - R3SC-78-3-2 「原子力施設の廃止措置の基本安全基準：20XX」発行版（完本）
  - R3SC-78-3-3 転載許諾リスト（基本安全基準）
  - R3SC-78-4-1 「発電用原子力施設の廃止措置の計画策定基準：20XX」公衆審査結果及び対応案について
  - R3SC-78-4-2 「発電用原子力施設の廃止措置の計画策定基準-20XX」公衆審査落合兼寛様ご意見への回答（案）及び公衆審査のご意見を受けた標準への反映結果
  - R3SC-78-4-3 「発電用原子力施設の廃止措置の計画策定基準：20XX」標準委員会書面審査コメント対応版（完本）
  - R3SC-78-4-4 転載リスト（計画策定基準）
  - R3SC-78-5-1 “発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX”標準原案に関する標準委員会決議結果について
  - R3SC-78-5-2 廃止措置安全評価基準案\_完本版
  - R3SC-78-5-3 安全評価基準（案）新旧対比表（第78回分科会用）
  - R3SC-78-5-4.1\_転載許諾のための整理リスト1\_廃止措置安全評価基準
  - R3SC-78-5-4.2\_転載許諾のための整理リスト2\_廃止措置安全評価基準（電中研HB）
  - R3SC-78-5-4.3\_転載許諾のための整理リスト3\_廃止措置安全評価基準（環境影響評価技術調査）
  - R3SC-78-5-5.1\_文献転載箇所対照表①~⑦\_廃止措置安全評価基準
  - R3SC-78-5-5.2\_文献転載箇所対照表⑧-1~⑧-7\_廃止措置安全評価基準（電中研HB）
  - R3SC-78-5-5.3\_文献転載箇所対照表⑨-1~⑨-10\_廃止措置安全評価基準（環境影響評価技術調査）
  - R3SC-78-6-1 標準策定5か年計画（電力提案）
  - R3SC-78-6-1 標準策定5か年計画（電力提案）
  - R3SC-78-6-2(a)学会標準の改訂方針
5. 議事
  - (1) 出席者／資料確認  
18/22名の出席により成立している。

(2) 【審議】 人事案件（今回なし）

(3) 【審議】 前回議事録確認

第 77 回廃止措置分科会議事録が承認された。

(4) 【報告】「基本安全基準」標準委員会審議結果報告

R3SC-78-3-1からR3SC-78-3-3により次が報告及び依頼がされた。

- ① 標準委員会で制定が決議され、文献転載許諾作業終了後に発行することとなった。
- ② 発行前までに最終の誤記チェックを委員の方をお願いする。

(5) 【報告】「計画策定基準」標準委員会審議結果報告（発行承認）

R3SC-78-4-1 から R3SC-78-4-4 により次が報告及び依頼がされた。

- ① 標準委員会で制定が決議され、文献転載許諾作業終了後に発行することとなった。
- ② 発行前までに最終の誤記チェックを委員の方をお願いする。

(6) 【報告/審議】「発電用原子炉施設の廃止措置計画における安全評価基準：20XX」の標準委員会議結果報告（公衆審査承認）

- ① R3SC-78-5-1に沿って、9/14の第89回標準委員会の審議結果の報告を行った。
- ② 標準委員会決議投票コメント6件の回答及び修正案が了承されたことを報告した。
- ③ 文献転載箇所に適正化／明確化すべき事項が複数あり、修正することで了解いただいた。公衆審査前にできる限り、誤字脱字をなくすべく、委員の方にチェックをお願いした。執筆者側でも細かいチェックを行う。
- ④ 転載許諾終了後に公衆審査に移行することが了承された。ただし、転載許諾に3か月を要するため、制定は2023年6月になる見込みであることを了解いただいた。
- ⑤ 耐震安全に係る線量基準の検討に当たっては、作業会を立ち上げた方がよいが、分科会3役を含む非公式作業会を予定する。正式作業会の希望があれば次回協議する。

(7) 【審議】 5 ヶ年計画の検討

R3SC-78-6-1 及び R3SC-78-6-2 により次の事項の審議を行った。

- ① 「廃止措置の実施」（略称）は、工事があまり進捗していないこともあり、内容を見直す必要はないと認識している。
- ② 耐震安全の考え方について、グレーデッドアプローチを取り入れ、耐震クラス設定に関する放射線防護の観点からの判断基準設定の考え方を技術レポートで発行し、その後、「廃止措置時の耐震安全の考え方：2013」の改定作業に移行することを了承いただいた。
- ③ 廃止措置時において耐震クラスをグレードダウンする場合の考え方は2013年の標準に示されているが、判断基準が示されていないこと、耐震安全は急務の課題であることから、まずは基本方針と判断基準を技術レポートで示していくこととする。
- ④ 耐震安全に関するグレーデッドアプローチ適用が具体化されれば、火災防護へも応用ができるため、耐震安全に引き続き、火災防護、外部事象対応の標準整備を進めることとする。
- ⑤ 研究炉、核燃料サイクル施設、使用施設などに関する安全評価基準については、発電用原子炉施設用の安全評価基準に施設の相違に係る必要事項を追記し、追補又は定期改定時に反映することでよく、新たに標準を作成する必要はないとのことで了承された。
- ⑥ 廃止措置計画策定基準及びインベントリ評価指針は、発電用原子炉施設用とは別に標準を整備する方針とすることが了承された。

(8) その他

- ① 次回(第79回) 廃止措置分科会は、11/8(火) 10:00～12:00 [インベントリ評価基準他の審議]

② 専門部会は11/10(木)、標準委員会は12/7(水)。

以上